

2023 年度 第 2 回 WWL (地域アドバンスト・ラーニング・ネットワーク)
協同的探究学習指導法研究会

新たな価値を生み出す思考力を育む「協同的探究学習」

—各教科の授業で非定型な課題の本質に迫る—

主催 名古屋大学教育学部附属中・高等学校

「協同的探究学習」は、児童・生徒が自分なりの方法で教科の内容を深く理解することと、思考のプロセスを表現することを促す、小・中・高各教科や課題研究で実践できる学習法です。また、仲間と話し合うことで、児童・生徒が主体的に授業に関わろうとし、お互いの考えを聞くことで仲間を認め合うことのできる授業です。

2023 年度は、以下の日程で「協同的探究学習」の研究会を実施、予定しています。

研究会	日時	テーマ・教科・科目
第 1 回 (オンライン)	7 月 27 日 (木)	現代的課題に迫り深める「協同的探究学習」 社会科 (中学校)・地歴公民科 (高等学校)、 音楽科 (中学校・高等学校) の実践紹介・検討
WWL 3 年次成果発表会 (対面)	11 月 18 日 (土)	「課題研究 STEAM」を支え、教科の学びをつなぎ深める「協同的探究学習」 英語科、数学科、国語科、理科、Pre-STEAM I、 データサイエンス、アカデミックライティング、 STEAM 公開授業・検討会
第 2 回 (オンライン)	2 月 17 日 (土)	多様性と創造性を高める「協同的探究学習」 国語科 (中学校)、英語科 (中学校) の 実践紹介・検討

第 2 回の研究会では、「多様性と創造性を高める「協同的探究学習」」をテーマとして「国語科」、「英語科」の実践紹介・検討を行います。一昨年度から、協同的探究学習の趣旨や理念を理解した上で実践している学校の実践紹介も行っています。多様性のある「生徒の新しい気づき」を引き出し、生徒間で共有して深め、創造性を高める授業についてともに考えます。また、ワークシートを用いた多様性と創造性に関わる思考力・判断力・表現力の評価 (A 基準、B 基準) について評価例をもとに検討します。

期日： **2024 年 2 月 17 日 (土) 13:00~17:00**

テーマ： **多様性と創造性を高める「協同的探究学習」**

第 1 部 本日の研究会の趣旨説明	13:00~13:05
藤村宣之先生 (東京大学) の講演 (5 5 分)	13:05~14:00
第 2 部 国語科 (中学校) の実践紹介・検討	14:10~15:30
第 3 部 英語科 (中学校) の実践紹介・検討	15:40~17:00

他教科の先生方も是非ご参加ください

対象者：小学校・中学校・高等学校・大学の教員 (非常勤講師を含む)、教育委員会関係者、
教員志望・研究者志望の大学生および大学院生

形態：オンライン (Zoom)

申し込み方法：2 月 13 日 (火) までに、本校ホームページの申し込みフォーム
(<https://highschl.educa.nagoya-u.ac.jp>)、または、右の QR コードを
読み取りお申し込みください。

会費：無料



第1部 講演 13:05~14:00

講師の紹介

東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生

<講演概要>

国際比較調査などの結果を分析すると、日本の児童・生徒の「できる学力」（解き方などが一つに定まる定型的な課題を解決する知識・技能）の水準は高いが、「わかる学力」（多様な考えが可能な非定型的な課題に対する思考プロセスの表現や深い理解）の水準は相対的に低いことが見えてくる。これからの時代に向けて国際的にも重視されている「わかる学力」や、自己肯定感・他者理解・学習観などの学びに向かう力・人間性を育むには、探究と協同（他者とともに学ぶこと）を通じて子どもたちの「深い学び」を実現する授業が必要である。そのような背景から小・中・高の先生方と各教科等の授業を通じて開発と実践を進めてきている「協同的探究学習」について、新たな発想を引き出し、関連づける非定型的な発問（思考の多様性を引き出し、相互に関連づけて新たな価値を創出する発問）の構成について提案する。そして、個々の生徒の記述内容などを分析して「わかる学力」（思考プロセスの表現や本質に向かう理解の深まり）を評価する方法について提案を行いたい。

特に今回は、国語科、英語科の実践事例をもとに、授業実践と理論のつながりについても考察を行う。

<プロフィール>

京都大学大学院教育学研究科において博士（教育学）を取得。名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授などを経て現職。専門は、教育心理学、発達心理学。カーネギーメロン大学（アメリカ合衆国）客員研究員、日本学術会議連携会員などを務めてきている。

<著書>

- 『協同的探究学習で育む「わかる学力」—豊かな学びと育ちを支えるために—』（藤村宣之・橘春菜・名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、ミネルヴァ書房、2018年）
- 『数学的・科学的リテラシーの心理学—子どもの学力はどう高まるか—』（単著、有斐閣、2012年）
- 『協同と探究で「学び」が変わる—個別的・ドリルの学習だけでは育たない力—』（分担執筆、名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、学事出版、2013年） 他多数

第2部 国語科（中学校）の実践紹介・検討 14:10~15:30

名古屋大学教育学部附属中学校の実践紹介・検討を行います。ワークシートを用いた多様性と創造性に関わる思考力、判断力、表現力の評価なども紹介します。また、兵庫県加古川市内の公立中学校の国語科教員による実践紹介も予定しています。

各実践紹介後に藤村先生からのご助言をいただきます。

第3部 英語科（中学校）の実践紹介・検討 15:40~17:00

名古屋大学教育学部附属中学校の英語科の実践紹介・検討を行います。ワークシートを用いた多様性と創造性に関わる思考力、判断力、表現力の評価なども紹介します。また、兵庫県加古川市内の公立中学校の英語科教員による実践紹介も予定しています。

実践紹介後に藤村先生からのご助言をいただきます。

お問い合わせ：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学教育学部附属中・高等学校 研究部長 大羽 徹

E-Mail：ohba@highschl.educa.nagoya-u.ac.jp

電話番号：052-789-2680（職員室）